

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2018-139863 (P2018-139863A)

【公開日】平成 30 年 9 月 13 日 (2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-035

【出願番号】特願 2017-35937 (P2017-35937)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 28 日 (2020.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に形成された遊技領域に向けて遊技球を発射することによって、遊技を行う遊技機において、

前記遊技領域には、

前記遊技領域を流下する前記遊技球が入球可能な複数の入球口と、

前記入球口の上流側に立設されて、前記遊技領域を流下する前記遊技球が衝突することによって、前記遊技球の進行方向を変更する複数の障害釘と

が設けられており、

前記複数の障害釘の一部は、前記遊技球が通過し得ない間隔で列状に立設されることによって障害釘列を複数形成すると共に、少なくとも 1 つの前記障害釘列には、少なくとも一箇所に前記遊技球が通過し得る隙間が形成されており、

前記遊技球が通過し得る隙間を有する前記障害釘列の下側には、前記遊技盤の盤面からの高さが前記障害釘の頂部の高さの位置に、前記障害釘列の下側を保護する前板が設けられており、

前記前板は、前記障害釘列の前記障害釘とは離間させた状態で設けられていると共に、前記前板からは、前記障害釘列の前記隙間を形成する 2 本の前記障害釘の頂部の間の位置まで、突片が延設されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

遊技盤に形成された遊技領域に向けて遊技球を発射することによって、遊技を行う遊技

機において、

前記遊技領域には、

前記遊技領域を流下する前記遊技球が入球可能な複数の入球口と、

前記入球口の上流側に立設されて、前記遊技領域を流下する前記遊技球が衝突することによって、前記遊技球の進行方向を変更する複数の障害釘と

が設けられており、

前記複数の障害釘の一部は、前記遊技球が通過し得ない間隔で列状に立設されることによって障害釘列を複数形成すると共に、少なくとも1つの前記障害釘列には、少なくとも一箇所に前記遊技球が通過し得る隙間が形成されており、

前記遊技球が通過し得る隙間を有する前記障害釘列の下側には、前記遊技盤の盤面からの高さが前記障害釘の頂部の高さの位置に、前記障害釘列の下側を保護する前板が設けられており、

前記前板は、前記障害釘列の前記障害釘とは離間させた状態で設けられていると共に、前記前板からは、前記障害釘列の前記隙間を形成する2本の前記障害釘の頂部の間の位置まで、突片が延設されている

ことを特徴とする。